

第一内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、掲示などにより情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 悪性胸膜中皮腫における HLA 発現、腫瘍内浸潤リンパ球と予後に関する研究

[研究機関] 北海道大学病院 第一内科

[研究責任者] 大泉 聡史

[研究の目的]

他の悪性腫瘍では腫瘍における HLA（ヒト白血球抗原）クラス I の低下があると手術後の予後が不良であったという報告や、腫瘍内に浸潤しているリンパ球が多い方が予後良好であったという報告があります。本研究では悪性胸膜中皮腫における HLA 発現、腫瘍内浸潤リンパ球と予後を検討して、中皮腫の治療に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1997年5月から2008年1月までの間に胸膜中皮腫と診断された患者さん

●利用するカルテ情報

性別、年齢、臨床病期、画像所見や治療経過（手術の有無や化学療法、放射線治療歴など）などのデータを集めさせていただきます。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院第一内科

電話 011-706-5911

担当医師 大泉聡史

FAX 011-706-7899